

本時のねらい (1/6時)
 ・分数に整数をかける計算について、数直線や面積図を用いて単位分数をもとに考えることで計算の方法を理解することができる。

評価規準
 <見方・考え方>分数×整数の計算を、数直線や面積図を使って「単位分数のいくつ分か」に着目し、整数×整数に帰着して考えることができる。

段階	学習活動	個のつまずきに対する指導
準備	<p>1、 素材提示</p> <p>・1個分の材料を見て、ケーキ3個分に必要な材料の分量について話し合う。※小麦粉の少数は既習の少数×分数で求められる。牛乳の分数部分は隠しておく。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>指導・援助</p>
問題	<p>2、 問題提示</p> <p>ケーキを1個作るのに2/7リットルの牛乳を使います。このケーキを3個つくるには牛乳は何リットルいるでしょう。</p>	<p>C1: 立式の意味を説明できない → 式を説明するにはどんな方法をつかうといいか。⇒数直線または面積図を想起させる。</p>
見通し	<p>3、 見通しを持つ</p> <p>・かけられる数が分数になる。3個分だからかけ算になる。 ・分数で表わされている牛乳の量も、かけ算で求められそう だ。数直線を使えば立式できる。 ・今日学習課題は何だろう？</p>	<p>C2: 個人追求のとき説明するアイデアが決められない。 → 個別に、数直線、面積図を示して方法を決めさせそれを使って視覚的に、2/7の大きさをつかませる。</p>
課題	<p>4、 課題づくり</p> <p>分数×整数の計算の方法を考えよう。</p>	<p>C3: 説明する方法がうまく書き表せない → 言葉の式だけの子どもには、目で見てよくわかる方法、誰にでもわかる方法はないか考えさせる。</p>
考え	<p>5、 個人追求、全体交流 わかりやすい説明はどれか。</p> <p>① 分数の性質をもとに考える。 2/7は、1/7が2個。その3つ分だから1/7が(2×3=6個分)になる。</p> <p>② 数直線をもとに考える。</p>	<p>C4: 分子と分母の両方に3をかけようとしている。 → 2/7はどんな量か、視覚的につかみその3倍はどんな大きさになるかで、考えさせる</p>
交流	<p>0 1/7 2/7 □ (0)</p> <p>0 1 3 (個)</p> <p>2/7 × 3 = □、2/7は1/7の2個分。□は1/7の2×3個分となるので6/7</p> <p>③ 面積図をもとに考える。</p> <p>2/7は1/7の2つ分。 2/7の3倍は1/7の6個分</p> <p>2/7 × 3は1/7が2 × 3個</p> <p>0 1 2 3 7 2×3 6</p> <p>0 1 2 3 7 7 7</p>	<p>C5: 自分の考えが発表できない子 → 話し合いのレベル表を意識させて、考えを発表させる</p>
まとめ	<p>6、 まとめる できるだけ自分の言葉でまとめる。 どれにも使われているアイデアは、「どれも1/7のいくつ分」という考えを使っている。2×3が共通。</p> <p>分数×整数の計算は、分母はそのまま、分子にその整数をかける。</p> <p>$\frac{\Delta}{\bigcirc}$ $\frac{\Delta \times \square}{\bigcirc}$</p>	<p>C6: 板書されているすべての方法が理解できた → どれも1/7の単位分数を使って考えていることから一般化の意識をさせる</p>
力試し	<p>7、 評価問題 鉛筆1をやり計算する方法を確かにする。</p> <p>8、 発展問題</p> <p>・牛乳が9/7だったら3個分では何ℓになるか考えよう。</p>	<p>C7: 発展問題ができない。 → 9/7でも、1/7の9つ分という単位分数をもとにした考えで計算すればよい。</p>
振り返	<p>9、 自己評価をする 自己評価カードに書き込む。</p>	<p>・自己評価カードをもとに個々の理解度を把握する。</p>